

一般県道 福井森田丸岡線

新九頭竜橋



福井県 福井土木事務所



事業の概要

一般県道福井森田丸岡線は福井市開発町を起点に坂井市丸岡町舟寄に至る延長約6.7kmの県道です。

このうち、これまでに区画整理事業により約2.3kmが整備されてきました。

本事業は九頭竜川渡河部を含む福井市寺前町から上野本町に至る1,550m区間を、平成16年度から令和4年度にかけ、155億円の事業費により整備するものです。

九頭竜川を渡河する新九頭竜橋は、新幹線の橋梁と下部工を一体構造とした全国初の構造になっています。

事業の効果

01 九頭竜川渡河部での渋滞緩和

福井市北部において、九頭竜川を渡河する橋梁(福井大橋、九頭竜橋、天池橋、高屋橋)部に交通が集中し、朝夕を中心に渋滞が発生しています。新九頭竜橋の整備により、交通を分散し渋滞緩和が期待されます。

02 産業・観光の活性化

福井市街地から福井港、テクノポート福井(工業団地)と北陸自動車道丸岡ICを結ぶ高規格道路・福井港丸岡インター連絡道路へのアクセス機能を強化し、嶺北北部地域におけるネットワークを形成し、物流・交流の活性化を図ります。

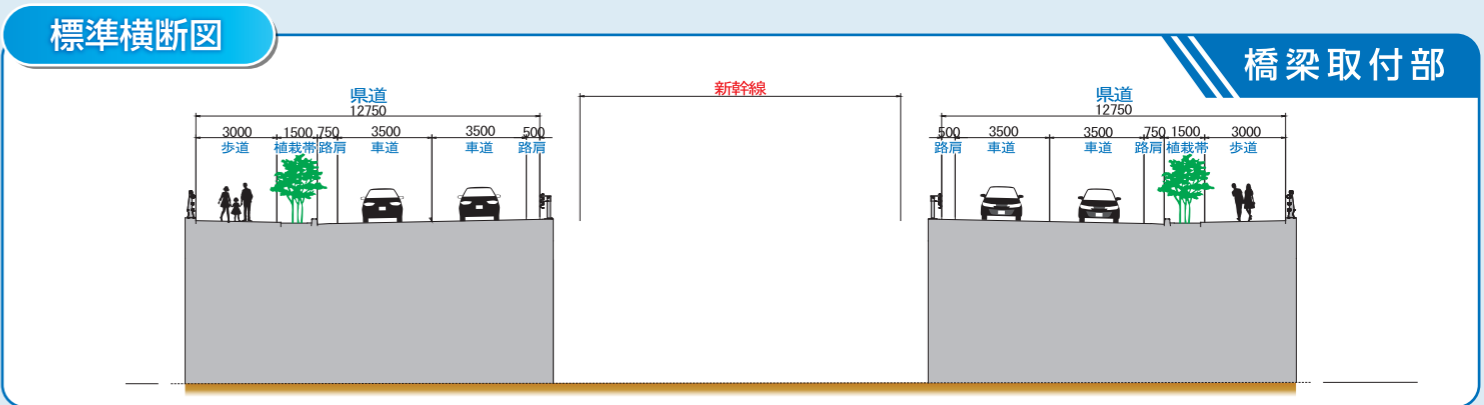
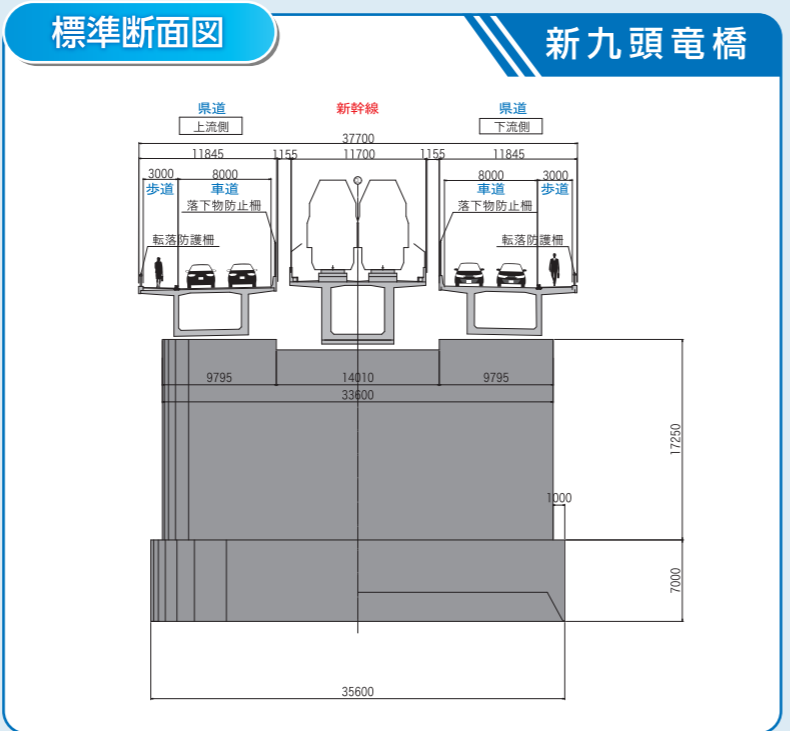
位置図





道路構造

道路種別：3種2級(橋梁取付部)、4種1級(一般部)
 設計速度：60km/h
 計画交通量：33,200台/日
 事業期間：平成16年度～令和4年度

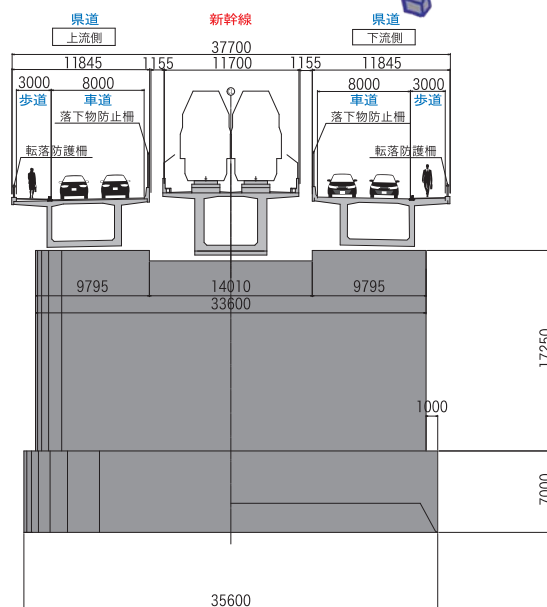


新九頭竜橋

shinkuzuryubashi



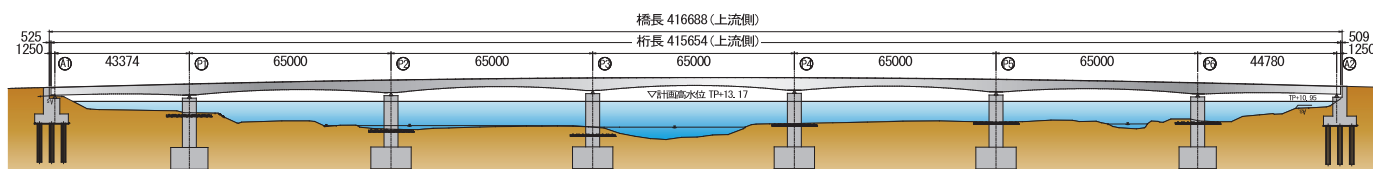
標準横断面図



橋梁概要

橋 長 : 上流416.7m、下流414.2m
 幅 員 : 11.0m(車道8.0m、歩道3.0m)
 設 計 荷 重 : B活荷重+群集荷重
 整 備 費 : 約100億円
 上 部 工 形 式 : 7径間連続PC箱桁橋
 下 部 工 形 式 : 橋台 逆T式(場所打ち杭基礎)
 橋脚 壁式(ケーソン基礎)

橋梁側面図(上流側)



架設工程



ニューマチックケーソン工法により新幹線と県道一体型の橋脚を構築します。



流水部は仮橋および仮設ステージを設置し施工します。



上部工を施工するため、仮橋を上下流に設置します。



上部工は張出架設工法により建設します。



出水期には仮橋上部工を一時撤去します。



舗装、高欄等の付属物を施工して完成です！

景 観

橋のコンセプトの決定に当たっては、景観検討委員会を設置し、素材そのものの色調を活かした景観とすることとしました。また、街路樹は福井森田道路街路樹検討会で決定した、華やかさや四季を感じることができるヤエザクラを植樹しています。



見学会等

建設系の学生や中学校、小学校の校外学習や修学旅行でも建設現場を見学していただき、公共事業への理解と土木建設への関心を深めてもらいました。



新九頭竜橋は「ふくい桜マラソン」のコースにもなっており、令和4年10月22日の開通日にはメモリアルランが開催されます。



親柱揮毫者紹介

吉川 壽一
(SYOING ARTIST)

1943年生まれ。福井市出身。
令和3年度県文化賞受賞。令和2～3年度文化庁文化交流使。
「奎星賞」「毎日書道展グランプリ」「福井市民文化賞」「毎日書道顕彰」等受賞。
毎日書道展審査会員。

自由な発想と優れた企画力でスケールの大きな表現世界を開拓。その活動は国内にとどまらず、UAEのドバイの赤沙砂漠にてヘリコプターでのSYOINGや、パリのエッフェル塔下での大書、また、中国・天安門前で45m×15mの大揮毫を観衆3000人余の前で披露するなど、SYOING ARTISTとして精力的に活動し続けています。
NHK大河ドラマ「武蔵」や講談社「バガボンド」「ジパング」等、数多の題字も手掛けています。
大胆かつ繊細であり、強いエネルギーとメッセージ性を持った作品は、世界中の多くの人を魅了し続けています。



お問合せ先

福井県 福井土木事務所

〒910-0853 福井県福井市城東4丁目28番1号
TEL 0776-24-5111 FAX 0776-26-4111

